

阪神南地域ビジョン委員会

第10期

活動記録集

活動期間：令和2年度～令和3年度



阪神南地域ビジョン委員会
兵庫県阪神南県民センター

■□■ はじめに ■□■

～活動記録集によせて～

この度、第10期阪神南地域ビジョン委員会の約2年間の活動が無事に終了し、活動記録集を発行することができました。

私たちの活動推進に多大なサポートとご協力をいただきました全ての皆さまに、心より感謝申し上げます。

第10期の阪神南地域ビジョン委員会は、2020年8月に兵庫県知事から委嘱を受けた様々な年代の55名の委員とともにスタートし、「阪神市民文化社会ビジョン」の行動目標に沿ったテーマを掲げた5つのグループが、9期までの阪神南地域ビジョン委員会の伝統を引き継ぎつつ、各委員の目線や考え方を融合し地域の将来像の実現に向けて実践活動を展開する予定でしたが、政府の専門家会議から示された「新しい生活様式」を組み入れた活動を地域の活動団体・関係機関と連携・協力しながらすることとなりました。

コロナ以前の日常が、制限されたことにより、活動はもちろん、活動のための会議すら、開催できない状態でしたが、委員の皆様の高い意欲と努力により、ZoomやラインといったSNSを活用し、実践に向け多くの会議、実践活動が実施されました。実践活動の中には、今後の進展に期待が持てるものが複数みられ、委員会の使命のひとつである地域とのつながりの前進を感じるとともに、改めてその大切さを実感しています。

第10期阪神南地域ビジョン委員会の夢会議は、高校生や県民、阪神北地域ビジョン委員とともに、オンラインと会場を繋ぎながらのハイブリット式夢会議を開催し活発な意見交換ができました。開催にあたり、石橋様、野田様をはじめ、阪神南県民センターのみなさま、阪神北県民局のみなさまの多大なご尽力には、ただ頭が下がる思いでいっぱいです。

夢会議では、高校生ならではの、独創的な発想や、物事のとらえ方は、実践活動を行っていく上で、非常に良い刺激となりました。

私にとっても、委員の皆さんとともに楽しみながら活動できたことや、折々の達成感など貴重で有意義な時間が過ごせたことはこれから活動していく上で、大きな財産となりました。

「阪神市民文化社会ビジョン」を実現し、さらなる前進に向けて、この活動記録集でこれまでの委員会活動の変遷を知っていただき、これからの活動に役立てていただければ幸いです。

今後も委員として活躍される皆さまが、実践活動され阪神南地域がより魅力あふれる街になることを願っています。

令和4年3月

阪神南地域ビジョン委員会 委員長 佐久間 壮仁



目次

■ 専門委員・アドバイザーからのメッセージ	1
■ 活動の記録	
● 各グループの活動	3
・ グローカル・ダイバーシティグループ	4
・ ゆとろぎグループ	12
・ まちむすびグループ	18
・ 緑豊かな安全なまちづくりグループ	23
・ 三市物語グループ	28
● ビジョン委員会総会	34
● 新地域ビジョン策定への参画	
阪神地域夢会議	38
新地域ビジョン意見交換会	48
● ビジョン委員会研修会	56
● 企画部会・連絡調整会議・広報部会	59
■ 参考資料	
・ 阪神南地域ビジョン委員会のあゆみ	66
・ 阪神南地域ビジョン委員会設置要綱	69
・ 第10期阪神南地域ビジョン委員会名簿	72

専門委員・アドバイザーからのメッセージ

第10期ビジョン委員会の皆様、阪神南地域の「新しい公」の発展のために日頃よりご尽力頂き誠にありがとうございました。

今期、充実した活動を満喫されましたか？ビジョン委員だったからこそ分かり合える悩みや葛藤、ジレンマ、喜び、様々な体験をされたことと思います。

振り返れば、この会での繋がりには、「人」に尽きると感じています。人と共に物事を積み上げていくことは簡単なことではありません。活動でも、もしかしたら職場でも、他人との摩擦を恐れて、自分の意見を抑えてしまうことがよくあるのではないのでしょうか？人は誰でも自分の意見を持っています。その意見も言葉にしなければ相手に伝わりません。自分の意見を言葉にすることで、間違いがあれば素直に聞き入れ、賛同者がいれば喜びの意を伝える。その中で相手をより理解し、互いに尊重できる関係を築くことができます。

ビジョン委員会は終了しても、人の繋がり続きます。私たち専門委員との関係性ももちろん続きます。

今後も、知識やネットワーク拡大等のために気軽に声をかけてください。この後も専門委員をフル活用すること！これからも協力しますので、いつでも相談してください。

皆さんの今後の活躍に期待しています！



東 朋子（特定非営利活動法人コミュニティ事業支援ネット理事長）

第10期委員の皆様、任期満了おめでとうございます。

いつもは、このような言葉でメッセージをスタートしていましたが、今回はこのように言ってもよいのか悩ましいところです。

第10期が始まってコロナ禍が深刻化し、その活動も大いに影響を受けました。今まで、総会やビジョン通信から時を追うごとに各グループの着実な活動の進展ぶりを見ることが出来ましたが、今期は対面、オンラインなど活動の選択肢があっても、上手に使い分け出来たところと出来なかったところの差が大きく出たように感じます。

ビジョン委員の活動は公費の援助で行われるものですので、難しい状況でも「泳ぎ切る工夫」をしていただきましたかったです。

今後、どのようなお立場になられても「新しい公」考え方で、阪神南の豊かな文化や自然とビジョン委員としての活動の経験と記憶を次世代に伝えて行っていただきたいと思えます。



小西 巧治（西宮芦屋研究所副所長）



地域ビジョン委員会の活動、お疲れさまでした。
今期はずっとコロナ禍の中で活動もしづらかったと思います。
しかし、こうした状況の中、リモートの活用など新たな挑戦もできた
のではないのでしょうか。活動も人生と同じく、山あり谷あり、状況は
刻々と変化します。どんな状況になろうとも叡智を結集し、乗り越え
ていくことができるはずです。一人の力は限界がある、しかし、それ
がネットワークでつながって大きな力になる、まさしくこうしたこと
を実感した2年間であったと思います。

1995年、この阪神南地域は大震災に見舞われました。ここでも市民のネットワーク力が発
揮されました。辛いときこそ支え合いの観点が重要になるのです。コロナ禍で私たちは否
応なく価値観やライフスタイルの転換を求められました。しかし、コロナ禍がなかったと
しても社会は徐々に変化していったと思います。確実に情報社会、ネットワーク社会は進
展しています。この2年間の経験を糧にして私たちの協力でよりよい地域づくりをめざし
て頑張っていきましょう。

久 隆浩（近畿大学総合社会学部教授）

コロナ禍で私たちは身近な地域を見直すきっかけになったのではない
でしょうか。その時に、海から川そして山につながる阪神間の魅力を
あらためて実感できただけでなく、尼崎の海辺に森が生まれ、西宮の
海辺に公園が生まれ、芦屋の海辺の街では市民が公園のマネージメン
トを楽しんでいたりと知らない間に新しい魅力が増えていました。い
ずれも市民の活動によって景色が育まれていっているようです。
自分に対して自然に、まちづくりも自然につながっているよう
です。尼崎も西宮も芦屋も、地理的に繋がり、同じ時代を共感してい
るゆえに、少なからず共通した景色が生まれていっているようです。
そこにビジョン委員の方々のこれまでの活動が重なって見えます。
共に学び合い、自然との学び合いなのではないでしょうか。



三宅 正弘（武庫川女子大学生活環境学部准教授）



第10期ビジョン委員の皆さま、コロナで始まり、コロナで終わる大変な
時期にも関わらず、活発な活動お疲れさまでした。グループ活動等には
ご一緒出来ませんでした。県民センターからお送り頂いた活動記録を
拝読いたしました。

阪神間のいろいろなこと、知っている様で知らない事が多く、紙面から
多くの事柄を教わりました。

活動の中から人の輪が出来、グループの輪が出来、お互いを思いやる心
が育っていったことでしょう。

日々の活動の中で尊い経験が生かされて行くことを願っています。

木村 和子（第5期・第6期阪神南地域ビジョン委員長
阪神南地域ビジョンOB会 会長）

各グループ の活動



グローバル・ダイバーシティグループ

行動目標と主な取り組み方

【行動目標】

多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる

世界の文化・教育・価値観を知り、日本の良さも伝えながら、こどもも大人も、日本人も外国人も、みんながダイバーシティ(多様性)を認めあえる社会を目指す。

【主な取り組み方向】

- ・多文化共生を応援する
- ・多様性を育むきっかけ作り
- ・学びの場を設ける

活 動 内 容

令和2年度

1 夢を叶える魔法のクリスマス会

日 時：令和2年12月20日（日）
13：00～16：30

場 所：尼崎市武庫西生涯学習プラザ
ホール

参加者：45人（うち、ビジョン委員5人＋
こども2人）

内 容：

親子の絆、夢や希望をあきらめないことの大切さ、お金に縛られない価値観、人とちがっていいなど多様性の考え方を映画のストーリーを用いて伝えるイベント。お店屋さんごっこでキッズマネー講座、絵本「えんとつ町のプペル」読み聞かせ、サンタクロースからのプレゼントと抽選会、刀トング作りワークショップ（絵本の登場人物ゴミ人間にちなんで）周辺のゴミ拾い

成 果：

全て満席の参加で、キャンセルもなく無事開催できたこと。

アンケートのコメントより

- ・お店屋さんでお金の勉強もでき、プペルの読み聞かせも聞いていて感動し娘たちも楽しかったようだ。トングもゴミ拾いや美化活動に使いたい。
- ・何でもないトングが唯一無二の素敵なアイテムになりわくわくするイベントだった。
- ・内容が小刻みだったので、子供達も集中して楽しめていた。間違えてもいい、発表のスタイルに緊張せずに楽しめたようだ。親子の絆が深まり、コミュニケーションのきっかけにもなっていた。

課 題：

今回はコロナの状況で人数に制限があったので、もっとたくさんの親子に参加してほしかった。



2 ケニアでの青年海外協力隊（JICA）活動についてシェア会

日 時：令和3年1月16日（土）
21：00～22：00

場 所：オンライン Zoom

参加者：ビジョン委員5人

内 容：

グループメンバー加藤さんより、青年海外協力隊（JICA）で、ケニアの職業訓練校で金属溶接の先生として勤務された経験をシェア頂きました。

成 果：

現地の生活や授業の様子を写真でリアルに感じることができ、とても新鮮でした。学校にはカリキュラムがなく、資格を取ってもらえるよう工夫して作り上げたお話が印象的で、異文化の中で試行錯誤されてすごいと思いました。異文化での経験談から、ケニアと日本それぞれの良い部分も見えてきて、このようなお話から多様性を認め合う社会に繋がると感じました。

課 題：

海外経験者の方から、経験談や提案等を出して頂く機会を設けるのも、グループ活動に加えてはという意見が出てきました。ぜひ今後検討していきたいと思えます。



3 「PTAアワード兵庫2021～みんなでPTA アイディア集を作ろう～」

日 時：令和3年2月23日（祝）
10：00～12：30

場 所：オンライン Zoom

（運営スタッフ4人のみ、「西宮北口の貸会議室」より配信）

参加者：153人（内、実行委員会メンバー5人、ビジョン委員会メンバー6人）

内 容：

兵庫県内よりPTA改革アイデアを募集。小中学校21校より全29事例が集まり、オンラインシェア会にて各学校より発表頂いた。和やかな雰囲気が進めることができ、チャットでも質疑応答が活発になされた。NHK「あさイチ」、関西テレビ「報道ランナー」、読売新聞の当日取材が入り、注目度の高さを感じた。アイデア集はPDFとしてWEB公開した。

成 果：

アンケート結果でも大変満足度が高く、PTAに対しての後向きイメージからポジティブなものへ変化する契機になった。地域で頑張る1人1人の小さな行動の背中を押せた。尼崎や西宮の教育委員会内でも事例共有下さるそうで、PTA活動を見直す1つのヒントになれた。

課 題：

1事例の発表時間が3分と短かったため、発表事例を絞り、時間を長めに取っても良かったと感じた。PTA活動が従来通りの「強制型」ではなく、「できる人ができる時にできる事を」の個人の自由選択での参加の形へ変化していけるよう、引き続き活動を続けたい。



4 「和文化 de 国際交流 with Asian Day」

日 時：令和3年3月7日（日）
10：00～12：00

場 所：オンライン Zoom
（サテライト会場：こくさいひろば
屋、CocoCara 西宮浜脇教室、ア
ルキメデス杭瀬教室）

参加者：約40人（うち、講師2人、ビジョ
ン委員会メンバー6人）

【講師】日本語教師：森本恵莉 先生、
「和文化の玉手箱」主宰：福崎希美 先生

内 容：

【「鬼滅の刃」で和柄の秘密を学んでみ
よう】、【ノートを取り方のコツ】、【オン
ライン茶道】という3つのテーマで、子
どもから大人まで楽しく和文化を学ん
だ。芦屋・尼崎・西宮の日本語教室を繋
ぎ、Asian Dayについての説明を聞き、オ
ンラインでの国際交流を楽しんだ。

成 果：

親子で楽しく和文化に触れることがで
き良かったという感想を多数頂いた。鬼
滅の刃の和柄クイズでは、子ども達が非
常に積極的に参加してくれて盛り上が
った。初めてお抹茶を点てたというネパ
ール人の子ども達も、「美味しい」と笑顔
を見せてくれた。

課 題：

阪神南地域に住む中国、ロシア、ブラジ
ル、ネパールなど多国籍な子ども達が参
加してくれ、オンラインの可能性を感じ
た。今回は初めての試みで、子ども達同
士が交流するまではいかなかったため、
次回は各会場から参加の子ども達とも
っと交流できるように工夫をしたい。



5 「PTA アワード振り返りおしゃべり会」

日 時：令和3年3月20日（土）
8：00～9：40

場 所：オンライン Zoom（ウェビナー）
参加者：46人（参加者39人、パネリス
ト5人、ビジョン委員会2人）

内 容：

「PTAおしゃべり会」主催の田中さんにご協力頂き、Zoomウェビナー形式で開催した。

PTAアワードでのアイディア集をもとに、詳しく話せなかった内容をお話頂いた。内容は、改革への一歩の踏み出し方、楽しんで参加できるPTAイベントとは、新しい会議のカタチ&PTAの未来について等。また、動画をYouTubeで公開し、PTAアワード参加者へもメールで共有した。

成 果：

東京や沖縄など全国からご参加頂き、みんなで和やかに学ぶことができた。PTA仲間の見つけ方、学校や地域の巻き込み方、読みたくなるお手紙作り、子ども達も保護者も参加したくなるイベント作り、みんながゆるく無理なく参加しやすい仕組み作り、デジタルサポーター制度まで、PTAアワードでは時間の制約上聞けなかった詳しいお話も聞くことができた。

課 題：

PTAにもデジタルサポーターが必要だと感じた。

阪神南地域ビジョン委員会のYouTubeチャンネルができれば動画をUPしたい。

◆公開動画リンク：

<https://www.youtube.com/watch?v=E99EHUKHusI&list=PLIYbD-ARpjULtr2R3A7-XXqIUjHWGFwf4>



令和3年度

6 「一緒に話そう！スリランカと日本の養生で免疫力UP」

日 時：令和3年7月3日（土）

15：30～17：00

場 所：オンライン Zoom

参加者：20人（内、講師人、ビジョン委員会メンバー5人）

【講師】スリランカ人・ヒマスさん

薬剤師・福田惇さん

ハーブの会・笹内裕子さん

内 容：

ヒマスさんよりスリランカやスパイスについて、福田さんより漢方や薬草について、お2人より風邪をひきそうになった時の養生の紹介、笹内さんより初心者でも簡単スパイス&ハーブ料理の話聞いた。オンラインで気軽に多文化交流を楽しみ、自然の恵みを大切にしながらの健康作りに関して情報交換ができた。

成 果：

海外の文化に触れ、参加者の関心が高いスパイスや漢方について聞いたり、身近な薬草の魅力を知ったりと、学び多く楽しい時間を過ごせた。特にヒマスさんの祖国の話が皆の心に残った。スリランカは宗教により言語が違い、最近まで内戦が絶えなかった。

言葉を話せるかどうかで、複数の友人が命を落とした悲しいテロをきっかけに、安全な日本へ飛び出して来られた。大学生活では「日本人は本当に優しい」と感動したとのこと。日本の外には全く違う世界が広がり、日本の当たり前は当たり前ではないことを強く感じた。「知ること」は自分のアンテナを立てるきっかけになる。多文化と多様性を学び、毎日の小さな幸せも大切に感じたいと改めて思わせてくれる時間となった。

課 題：

ゲストトークが盛り上がり、時間があっという間に過ぎてしまった。もう少しお

1人ずつのお話を詳しく聞いたり、参加者さんとの交流の時間を取ったりできればと思うため、次回に生かしたい。



7 西宮神社獅子舞中継サポート

日 時：令和3年10月30日（土）

15：30～17：00

場 所：西宮神社 参道横の松林より中継

内 容：大阪南堀江「萬福寺」で開催された和文化イベント「Nipponを見て候う第2弾」の中で、西宮神社若えびす獅子舞保存会の獅子舞奉納を西宮神社からZoomでオンライン中継することとなり、グローバル・ダイバーシティグループがお手伝いとして参加したものです。

3月に当グループで主催した「和文化 de 国際交流 with Asian Day」に参加された今回の和文化イベント主催者様が、すごく良かったと感動して下さったことがきっかけでした。

成 果：

「萬福寺」で和文化イベントに参加されていた方に、西宮神社に伝わる伝統ある獅子舞奉納を見て知ってもらうことが

できました。また、西宮神社境内では、多くの七五三詣りの家族連れに見てもらえ、日本の文化を子ども達にも感じてもらうことができました。



- 1.道中(どうちゅう)
- 2.宮参り
- 3.荒神払い崩し
- 4.アマビエの舞
- 5.新短(しんたん)
- 6.伊勢道中歌



西宮神社境内よりライブ中継



本日の演目

8 「子育ておしゃべり会 (オンライン)」

日 時：令和3年10月26日 (火)
12:00~13:00

場 所：オンライン Zoom

参加者：9人 (うち、ビジョン委員会メンバー6人)

内 容：

昼休みの1時間、気軽に子育てについておしゃべりする会を開催した。15分だけ元気をチャージしたいと参加してくれた方も。参加者からの子育ての悩みを共有し、解決策のヒントを話し合った。

以下のような気づきを得られた。

* 子供と一緒にお互い納得の解決法をみつけると良い

* 「ふつう」の価値観は人によって様々である

* お母さんは「大変な時期よね～」と共感してもらえると嬉しい

成 果：

コロナのため、日常生活でなかなか繋がる機会がない今。普段気になっているこ

とを気軽におしゃべりしたり、他人の話を聞いて価値観を広げたりする時間が大切だと感じる事ができた。また、幅広い年代が交流することによって、「母」＝「子どものために我慢が当たり前」だった時代のことも教えてもらい、時代ごとに価値観が大きく異なることを学ぶ事ができた。

お母さんだけが我慢なくて良く、「手伝って！」がもっと気楽に言える社会にしたい。子育ては夫婦の共同事業だったり、地域の人にも育ててもらったり、みんなに育ててもらう、たくさんの人に関わってもらう方が子どもの成長の栄養になる。そんな楽しくて優しい社会を目指したいと感じた。

課 題：

「孤育て」(孤独な子育て)をしているような本当に繋がりを必要としている人に情報を届けるのは難しいと感じた。特に出産後の外出が難しい人にこそ、情報をお届けして気軽に参加してもらえたらと思う。



9 「日本酒 de 国際交流イベント」

日 時：令和3年11月27日 (土)
19:00~21:00

場 所：オンライン Zoom

参加者：14人 (うち、講師1人、ビジョン委員会メンバー9人)

【講師】国際唎酒師 藤岡結子さん

内 容：

講師・藤岡結子先生から、日本酒の4タイプ毎におすすめの飲み方、温度、器、食物のペアリング等を教えて頂いた。酒造メーカー勤務のビジョン委員・川西さんからは、兵庫の酒造りの歴史や杜氏及び蔵人の日常を教えて頂き、学び多い時間となった。

参加者の自己紹介時間も設け、準備した日本酒の紹介を通して交流を楽しんだ。在日約30年の中国出身の方は「15年物の日本酒は飲めるの？」と古酒を準備して参加され、中国でも日本酒「獺祭」が人気なこと等を教えて下さり、国際交流の機会になった。

成 果：

「日本酒が好き」という人が集まり、楽しく交流しながら学びあえる時間となった。日本酒は、日本の素敵な伝統文化で、コミュニケーションの潤滑油になる重要なツールだと改めて感じる事ができた。ビジョン委員同士のコミュニケーションを取ることもでき、良い機会となった。

課 題：

日本の国酒である日本酒について、日本人でも知らないことがまだまだあると感じた。次世代や海外に伝えていくためにも、もっと私達自身が楽しみながら学んでいくこと、発信していくことが必要だと感じた。

10 「子育て家庭のリアルトークイベント
～今こそ、価値観をアップデート！～」

日 時：令和3年12月5日（日）

13：30～15：30

場 所：西宮市大学交流センター講義室1

（託児室：講義室3）

参加者：合計35人（うち、講師5人、グラレコ2人、ビジョン委員会メンバー7人）

内 容：

久しぶりのリアルイベント。子育て、夫婦に関する「日本のあたりまえ」を取り払い、より幸せに子育てと人生を楽しめるヒントを得ることを目的に、3組の講師を招き、子育てのヒントを学んだ。

「①男性育休を取得したパパの話」「②夫婦のパートナーシップ、苦手な部分は人に任せる」「③自立度の高い子を育てる方法」。参加者らの自己紹介や「今日から取り入れたいこと」の発表も実施。また、尼崎市役所ファシリ部に依頼し、グラレコで当日の内容を絵で記録して頂いた。別室で託児も実施した。

成 果：

もうすぐ2人目出産予定のご夫婦、育休中のママ、西宮市の石井市長らが参加。3組の講師のお話はどれも大変興味深く、「まだまだ男性育休はマイノリティ」、「子育てで男にできないことはない！（母乳以外）」、「日本の家事の男女差は5倍！」、「苦手な部分は人に任せて、気持ちの余裕を持とう」、「ひとり時間、夫婦時間を大切にする」、「家事は生活そのもの！お手伝いではなく、“権限移譲”しよう」、「子育ては“急がば回れ”5ステップでトレーニングを」、「宿題しなさいと言わない。勉強を嫌なものとして刷り込まない」、「子どもに興味をもつ」など、沢山のヒントを得ることができた。

課 題：

パートナーシップのイベントは集客が難しいようで非常に苦戦した。話の内容が素晴らしいものだったので、

もっと多くの人に聞いてもらいたかった。グラレコや動画を公開し、誰でもいつでも見られるようにすることで、広くシェアしていきたいと思う。ただ動画は公開できる品質を満足できているか疑問が残る。

また、託児は小さい子が多く大変だったため、別途保育サポートを依頼した方が良かったと思った。次回からに生かしていきたい。



11 「新春☆和文化イベント」日本の冬を楽しもう

お茶席体験&もんきり折り紙あそび
～伝統的なお茶室で茶道体験をしてみよう！～

日時：令和4年1月30日（日）
10：00～11：30

場所：尼崎の古民家

参加者：13人（うち、講師1人、ビジョン委員会メンバー2人）

【講師】「和文化の玉手箱」主宰：
福崎 希美 先生

内容：

伝統的なお茶室にて「茶道体験」と、江戸時代の「もんきり折り紙あそび」を通じて親子で楽しみながら和文化を体験してもらう。

成果：

親子4組で気軽に楽しく「和文化」を体験してもらうことができた。日本家屋の凜とした空気、お茶室、畳、襖、雪見窓

など古民家ならではの雰囲気、子ども達も五感で感じていた。子どものうち3人は抹茶を飲むのが初めてで、「本格的なお茶席で体験できて良かった」と喜んでもらえた。もんきり遊びでは、大人も、子どもも夢中で作成して下さり、切り取った梅や桜の模様を千代紙に貼り、大変満足されていた。

「初めてのもんきり遊びとお茶席体験、子どもも興味を持って楽しめていたので、家族にとって良い機会になった。和の良さが少しでも子どもの体に染み込んでいたら良いと思う」「どちらも親子で体験できて満足。3月が最後になるのが残念」という感想を頂いた。（当委員会グループ活動は3月で任期終了となるため）

課題：

当初は、サテライト会場（日本語教室：CoCoCara浜脇教室）とオンラインZoomで繋ぎ、阪神南地域在住の海外にルーツを持つ子ども達にも茶道体験をしてもらう予定だったが、コロナ感染再拡大に伴い、中止になってしまったのが残念だった。

引き続き3月以降も自主活動として親子で和文化を体験できる活動を続けていきたい。



12 「世界の教育を知ってみよう！」 ～子どもの幸福度の高いフィンランド・オランダ等からのヒント～

日 時：令和4年2月23日（水・祝）
15：00～17：00

場 所：オンライン Zoom

参加者：50人程度を予定

（うち、講師3人、グローバルGより5人、ゆとろぎGより6人予定）
予定ゲスト講師：田中潤子さん、
南迫勝彦さん、北林和樹さん

内 容：

【目的】

- ・子どもの幸福度の高いフィンランド、オランダ等から世界の教育を知る
- ・教育の「当たり前」「多様性」を考えるきっかけを作る
- ・日本の教育で取り入れるためのヒントを得る

【流れ】

- ・フィンランドの教育について
- ・広島叡智学園中学校の授業について
- ・尼崎でオランダのイエナプランが学べる学童
- ・質疑応答
- ・グループディスカッション
- ・講演で感じたことシェア
- ・挨拶・まとめ

※今回はゆとろぎグループとの共同開催として実施



活動の評価・総括

コロナ禍でも「どうすればできるかな？」とポジティブに考え、オンラインとリアルを上手く活用して様々なジャンルの活動を実施。少人数メンバーがそれぞれの得意を活かし、協力して活動できたことに深く感謝しています。

具体的には、夢・お金の学び・和文化（茶道・和柄・文字・獅子舞・日本酒）や世界の文化（青年海外協力隊・スパイス・ハーブ）・子育て（男性育休・パートナーシップ含む）・教育（PTA・子どもの幸福度が高い西/北欧の教育）等、計画通り全て実現。結果、各市教育委員会やマスコミ含め反響もあり、将来に向けた姿の提言となれば幸いです。

日本や世界の様々な文化・教育・価値観を知ること、「～があたりまえ」という固定概念を減らし、「こんな考え方があるんだ。やってみよう！」と良い部分を取り入れるきっかけの一助になれたと思います。

「多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる」というビジョンに貢献できたと考えます。

運営体制

代 表：佐原由紀子

副代表：土居由紀子

委 員：池田悦子、太田洋平
加藤大輔、川西真由美
持家照子、近沢幸治郎
殿村愛一郎、野坂拓良

ゆとろぎグループ

行動目標と主な取り組み方

【行動目標】

多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる

少子高齢化や生涯現役時代などの近年の社会状況を踏まえ、これからの地域活動の担い手不足や無関心さにより、地域活動や自治会が成り立たない時代になりつつある。各世代が分断され、地域社会全体の活力の低下に歯止めをかけるために、多世代間の交流の助長・地域への関心を育み、一歩踏み出す後押しをする。

『誰でもいつでも「ちょっと参加」「ちょっと手伝い」ができる、多様で個性豊かなライフスタイルを育む土壌づくり』を主な目的とし、将来に何がしかの「しくみ」を残せるような活動をする。

【主な取り組み方向】

- ① 隠された意図として世代間交流
- ② 事業目的に沿った「しくみ」づくりの勉強会
- ③ NPO団体や他団体との交流（あにあん等）
- ④ 文化・地域を知る・調査をする
- ⑤ Withコロナの中で、多様で個性的なライフスタイルを育む勉強会

活 動 内 容

令和2年度

- 1 小西先生 講演会 「阪神南の昨日・今日・明日 まちの魅力の発見」
日 時：令和3年1月23日（土）
10：00～12：00
場 所：西宮市大学交流センター
6階セミナールーム No. 1
参加者：11人 ※小西先生を除く

内 容：

小西先生をお招きし、阪神南地域についての知見を深めた。尼崎・西宮・芦屋の市制施行の歴史から現在、そしてビジョン委員の在り方を詳細なデータとともに解説していただいた。近隣の施設や場所の知らなかった歴史や、経緯などを知ることによって今後のイベントや活動に活かされる内容であった。

成 果：

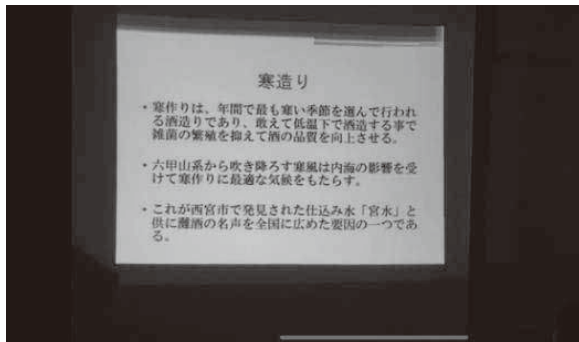
ゆとろぎグループからは全員参加することができ、出席率も大変良かった。各々メモを取ったり、終了後に感想や意見を言い合うことで阪神南地域について新しく学ぶことが多かった。特に、質疑応答の時間での今後のグループ活動に関しての小西先生からのアドバイスはすごく重要なものであったと感じる。

課 題：

講演のスクリーンや投影機の準備に少し手間取った場面がみられた。また、今回は小西先生の講演のパワーポイント等の事前・事後共有がなかったことから、事前にレジュメを配布しておいた方が、より学びを深めることができたのではないかと感じる。最低でも、収穫物としてレジュメの事後配布を行いたい。



下見ツアー



夙川の魅力を再発見！ 爽やか街歩きツアー

香櫛園周辺 **新緑の川辺と海辺を歩いてみよう！！**
 ～ 夙川と御前浜 日常の生活空間に溶け込む文化と歴史も味わいながらのゆとり“ゆとろぎ”の街歩き ～

コロナにめげず “爽やか街歩き” に参加してみませんか

2021年 5月29日(土) 09:00 ～ 12:00
 (小雨決行 強雨順延時の代替日 6月5日(土) 同時間帯)

集合場所 夙川香櫛園駅北側広場 (改札口にてスタッフがご案内します)

今回の行程に含まれているエリアロードは、今年で夙川開港150周年を迎えることになりました。今年度は散歩・買い物・通勤通学など日常を過ごすきっかけのふみ、また近年では観光のジオパークとして注目を集めつつあります。エリアロードは緑が豊かになった夙川緑道と海辺にあり、御前浜(自動車道)を歩けば御前浜(海)と川と海とが一目でつながります。是非この機会に御前浜(海)と川と海とを一緒に楽しみませんか。

主催 夙川地域ビジョン委員会 ゆとろぎグループ - look & feel 夙川 -
 後援 夙川商工会議所() 協力()

令和3年度

2 ～香櫛園周辺～ 新緑の川辺と海辺を歩いてみよう <中止>

日時：令和3年5月29日(土)

9:00～12:00

(小雨決行 強雨順延時の代替日
6月5日(土) 同時間帯)

場所：香櫛園、夙川、御前浜周辺

参加者：20名予定

内容：

“夙川と御前浜” 日常の生活空間に溶け込む文化と歴史も味わいながらのゆとりの街歩き。コロナにめげず“爽やか街歩き”に参加してみませんか！

(今回は新型コロナウイルス感染症拡大に伴いやむなく中止となりました)

オアシスロードと川べり・海辺の多彩な“みち”を歩き分けての 約4.5km 周遊コース

(集合場所での受付開始は 08:45から)

① オアシスロードルート：新緑の爽やかさ
 夙川香櫛園駅
 夙川橋
 丹沢池 旧香櫛園周辺地帯
 茶臼川橋 (夙川河口寄)

② 御前浜ルート：自然と身近な文化・歴史
 夙川河口・御前浜 (自然海岸)
 御前浜橋 高橋の六甲山系パノラマ
 住吉神社 かつての樽屋街 新酒造り出立港に臨む
 西宮砲台 見慣れた史跡だが(思わぬ大発見あり?)
 (夙川河口にもどり)
 ③ 川べりルート：川縁から眺める緑と水(潮)音
 あしはら橋
 翠(みどり)橋
 川添橋

(川添橋 橋脚の広場にて 解散)
 ・ 夙川香櫛園駅はすぐそこ

爽やか街歩きツアー
 ・ 定員 20名 (先着順)
 ・ 参加費 無料

申し込み方法
 ・ Mail
 ・ FAX
 ・ お問い合わせ

制作予定であったチラシ案

3 人形劇を通じて交流体験 <中止>

日 時：令和3年8月28日(土)
場 所：西宮市民大学交流センター
参加者：60名予定
内 容：

人形劇を軸にした交流を通じて、ゆとろぎグループの目的でもある「ちょっと参加」「ちょっと手伝い」を主催者、参加者にも実感してもらう。

(今回は新型コロナウイルス感染症拡大に伴いやむなく中止となりました)



人形劇団の下見

4 「西宮夙川周辺の公園文化探訪記」 (小冊子)の作成

日 時：令和3年11月～令和4年2月
場 所：夙川～御前浜公園～西宮浜総合公園

参加者：各メンバーが時間を見つけて探訪
内 容：

- ① 原稿の提出(集約)
 - ・個別探訪レポート(原稿)は7件
 - ・これに探訪概要(既出)を加え冊子作成
- ② 冊子の仕様等
A4版 中綴じ コート紙
フルカラー 35～40ページ
- ③ 原稿の取り扱い
 - ・個別探訪の原稿については、第三者に編集を委ねることはせず、その執筆者が最終原稿(印刷に回せる状態

の原稿)までを仕上げる。

書式・表現法などは全く自由
提出後の加筆修正・写真挿入も任意
におこなうことが可能。(必要があれば、可能な範囲で、取りまとめ班若しくは他メンバーが助言・助力を行う)

- ・探訪記概要の原稿については内容を洗練させ、編集作業を経て最終原稿を作成する。

④ スケジュール

(i)～12月末まで

最終原稿を完成させ、取りまとめ班(梅本・片岡)宛てwebメールにて提出する。

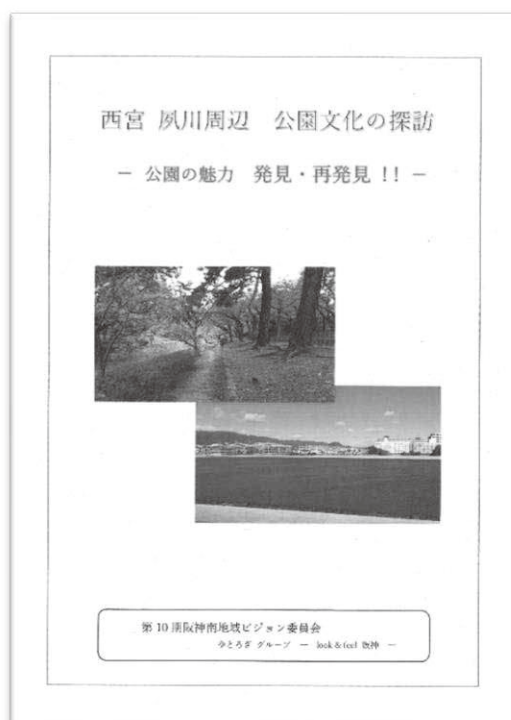
(ii)～1月15日頃まで

- ・表紙原稿を作成し、提出された最終原稿の校正作業も行った上で版下を完成させる。
- ・事務局との諸調整を行う。
- ・版下(発注前の完成原稿)は次回グループ会議で最終確認を行う。

(iii)～1月末まで

発注・納品完了

☆西宮市内の11箇所の図書館及び分室に配架が決定し納品



みやっこキッズダムは、心もからだのびのびできる遊びの広場！！
～乳児から子ども、おとな、そしてお年寄りまで一緒に遊べるよ～




西宮市総合公園に「みやっこキッズダム」が21年4月にオープンしました。遠く六甲の山並みも見え、海に面した遊歩道と広い敷地、シンボリックなお城の形の巨大遊具はじが、年齢に応じて遊べる遊具がたくさん設けられているのがうれしい。年齢別に3つのエリア。1～3歳は砂場中心、3～5歳は小さな遊具、6～12歳は大きなお城、ターゲッグループを遊んだり、遊んだり、滑ったり。それらが揃ったりと広い公園で遊んでいるのも安心。

選び取れたら、持参したレジャーシートやフグを敷いてお弁当やおやつを食べるのもよし。海からの風にあたりながら食べるおにぎりもさぞかし美味いと思う。日差しが強い日は陰でもよい、水分補給に気をつけたい。敷地が広いので、シート持参の方も楽しめるようだ。

おじいちゃんやおばあちゃんにとっても孫が遊ぶ姿を見るのは心むけられるはず。3日次の家族連れもオススメだが、子ども会や町内会の遠足にもピッタリ。多世代交流の絶好の機会だ！

遠くから来た色を眺めてみよう。広いのも山と海が一望できる。この季節は桜開花ならではの。遊んだ後にはお弁当を美味しく食べてみる。

小さな子どもから大人までそれぞれが楽しめる、今までなかった公園。大人も含めてみんなまで預かっていたと思うためのスポットである。



探訪概要 編

1) (公園前史としての) 香爐園
明治から大正にかけて、香爐(資料-1 p15)にもあるとおり、香爐(近湯池)公園開園を期していた民間団体のひとつです。事業コンセプトがあまりに時代を先取りしていたことであって、開業当時の人気と期待はすぐさま下火となり、その後の「常設施設」となりました。現在では阪神東部の駅名と小学校の校名にその名を残すくらいで、その名前を知る者が少ない「古の香爐園」となっていました。

海を眺めている景色はあまり多くはありません。湖を眺めるにはお城の展望台がおすすめです。お城の展望台から湖の写真を撮ることもできます。お城の展望台から湖の写真を撮ることもできます。お城の展望台から湖の写真を撮ることもできます。

お城の展望台から湖の写真を撮ることもできます。お城の展望台から湖の写真を撮ることもできます。お城の展望台から湖の写真を撮ることもできます。

お城の展望台から湖の写真を撮ることもできます。お城の展望台から湖の写真を撮ることもできます。お城の展望台から湖の写真を撮ることもできます。






4) オアシスロード
阪神間の都市計画道路として敷設され、自覚中の通行にも使われていた道路のうち、国道2号線以南部分が歩行者専用道として利用されるようになったのは、昭和46年(1971年)のことでした。

左の写真はオアシスロード化する以前の道路の状況です。道幅はそれなりにあるのですが、歩道・車道の区別はなく、とほいっと道路脇に充分な幅員が確保されていて、道路脇の樹木も少なく、歩行者の安全確保ができていない状態です。道幅には余裕が不足し、先述も交えて歩行者専用道の半分を占めてしまっている感じが、ゆとろぎを感じます。

そこで、これを歩行者専用道として利用する試みが始まることになったのですが、それは幸ひにも早い先駆けを取り組んでいました。当初は気候も時期も下駄の踏みかたも目的も違っていたのですが、概ねオアシスロードとして運用され、歩行者専用道として運用されています。

先述、地では開園後50周年を記念して歩行者専用道も整備されるなど、同じく歩行者専用道として運用されています。今では公園施設の主要な一帯として、まるで歩行者専用道のように整備されているかのような印象があります。散歩にもよりジョギングや通学専用道として、また若い層などの生活道路として人通りの絶えることがありません。

5 「世界の教育を知ってみよう！」
～子どもの幸福度の高いフィンランド・オランダ等からのヒント～
※グローバル・ダイバーシティグループとの共同開催

日時：令和4年 2月23日(水・祝)
15:00～17:00
場所：オンラインZoom
参加者：50人程度を予定(うち、ゆとろぎGより6人予定、グローバルGより5人予定、講師3人)
予定ゲスト講師：田中潤子さん、南迫勝彦さん、北林和樹さん

- 内容：
- 【目的】
- ・子どもの幸福度の高いフィンランド・オランダ等から世界の教育を知る
 - ・教育の「当たり前」「多様性」を考えるきっかけを作る
 - ・日本の教育で取り入れるためのヒントを得る

【グローバル・ダイバーシティグループとのコラボ背景】
ゆとろぎGは少子高齢化、定年延長等により、地域活動の担い手不足を解消する手段の一つとして、「ちょっと参加」「ちょっと手伝い」を目的とし活動してきたが、コロナ禍において実現には至らなかった。そこへグローバル・ダイバーシティさんからコラボの誘いがあり、ゆとろぎGとしても、今回のテーマである子供の教育については、地域の活性化には欠かせない課題であると考え、「ちょっと参加」「ちょっと手伝い」ができればとコラボ参加を快諾した。

【期待する成果】
異なったグループにコラボ参加することが、ゆとろぎGの目的である『誰でもいつでも「ちょっと参加」「ちょっと手伝い」ができる、多様で個性豊かなライフスタイルを育む土壌づくり』を体感することができ、ビジョン委員を終了した後も、各々の地域でこの目的を育む考え方の一助になると考えた。

【準備&スケジュール】

- ① 1月18日 合同会議開催(リモート)
 - ・参加者 グローカル・ダイバシティー 2名、ゆとろぎG 2名
 - ・イベント企画の内容の説明を受け、ゆとろぎGメンバーの参加者を募ることにした。
- ② 1月19日 ゆとろぎライングループ内で内容説明と参加の有無を打診
- ③ 1月23日 ゆとろぎGより6名の参加確定
- ④ 2月1日 合同会議開催(リモート)
 - 2月23日の本番に備えて、準備等々を話し合う
- ⑤ 2月23日 本番



2年間のグループ活動(内容)記録

活動期間

令和2年8月29日(第1回総会)～
令和4年3月31日において

- 1) 前期(第1回総会～令和3年31日迄)
 - ① 当初はグループ(会議)の運営のための慣熟期間の見なしグループ会議を重ねた。
(10名のメンバー中9名がビジョン委員未体験者であることを確認)
 - ② 前期の残期間(約3ヶ月間)を後期

活動のための準備期間と位置づける
(活動の基本コンセプトを
“look & feel 阪神”と定める)

- ③ 勉強会の開催(活動の前提となる必要情報の習得) 令和3年1月23日
講師 小西専門委員
- ④ Zoom研修の受講
メンバーの受講率が高く、その後のグループ活動を進める上で有効だった。
- ⑤ 議論を重ね、活動分野を、「地域の交流の場作り」と「街歩き」の2分野に絞り込み、計画の検討を進めた。

2) 後期(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

- ① 具体的な活動計画(第2回総会にて発表したもの)
 - (i) 交流の場づくり「見て遊びながら交流の図れる人形劇の」8月開催予定
 - (ii) 街歩き「夙川公園の魅力再発見ツアー」5月催行予定

準備を進めていたが、両件共その後のコロナ蔓延の影響により催行できなかった。

- ② 活動計画の変更
街歩きについては、10～11月へ延期しての設定を検討するも、コロナの状況がその後も読みづらく、一般からの募集で行うイベントタイプの計画は8月末の時点で断念した。

- ③ 新活動計画の策定
コロナの動向に左右されず確実に実行出来、かつこれまでの活動で得たものが活かせるような計画内容を改めて検討し、9月に入り新活動計画として策定した。

新計画の活動内容は「西宮 夙川周辺公園文化の探訪」とし、新たなメニューに基づく探訪活動によって得られる成果を冊子として纏め、これを一般に発表・公開するというもの。

テーマの対象となる公園の範囲を拡大し、探訪活動を探訪概要と個別探訪

に分け、「探訪概要」は特定の担当者が作成し、「個別探訪」はグループメンバーが個別に現地探訪を行い、それをレポートとして提出し、纏めたものを作成する。

両者を合体したものがグループ活動の成果として冊子となる。

④ 活動スケジュールとその経過

実際の活動は10月に入ってから。現地の探訪実施、資料・文献上の収集閲覧調査、関係者（組織）への取材、各人の探訪記の作成と取りまとめ、編集、版下作成、印刷製本業者の選定と発注など、多岐にわたる活動だったが、各メンバーの一致協力・努力によりハードなスケジュールに拘わらず、1月末日に完成物の引き渡しを受けることが出来た。

⑤ 冊子配布先予定

配布はビジョン委員会事務局との調整によるが、

- ・冊子作成への協力者、組織
- ・ゆとろぎメンバー及びその知人、友人
- ・不特定多数の閲覧利用が期待できる個人、団体など
(不特定多数へのフリー配布は当面行わない)

☆西宮市内11箇所の図書館及び分室に配架が決定し納品

ゆとろぎグループが掲げた行動目標1は、「多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる」というものだった。

この趣旨を踏まえて「西宮 夙川周辺 公園文化の探訪」冊子作成が狙いとしたのは、

① 直接的な狙い

この冊子を読了することによって、地域の人々が今回取り上げた公園への興味や関心を深め、これまで以上に「公園を生活に取り入れた（多様で個性的な）ライフスタイル」を実現するためのきっかけとして欲しい。

→それまで知らず、若しくは行ったことがなかった公園に行ってみようかとか、行ってみて知ることに出来た公園で、他の人の多様な活動に触発されるなどして、公園という場での自分の新たな活動や可能性にチャレンジするような行動に繋がれば良い。

② 間接的な狙い

公園に関わる歴史や文化を具体的に知ることは、その公園の所在する街や地域をより実感的に良く知ることに繋がる。

(公園を通じて街を知る)

→自分の住む街について良く知ることが、街や地域への更なる関心や興味・愛着を深め、そこから(巡り巡って)豊かなライフスタイルの醸成に繋がっていくことを期待したい。

活動の評価・総括

コロナ禍による活動条件の劣悪さに拘わらず、グループ内での工夫とメンバー各人の協力もあって、当初掲げていた目標を目指す具体的な活動成果を得ることが出来た。

その具体的な活動成果を理解して頂く為には、冊子の現物とその内容をご覧頂くのが最も手取り早いですが、文面で補足を試みる。

運 営 体 制

代 表 : 片岡幹雄
副 代 表 : 梅本信二
委 員 : 石田敏夫、 植村茂晴
佐久間壮仁、 西村孝一
浜上和也、 藤村明沙佳
前田基久子、 矢野志織

まちむすびグループ

行動目標と主な取り組み方

【行動目標】

自立と協働による温かいコミュニティをつくる

多世代が利用できる情報発信によって世代間（高齢者と若者）の地域コミュニティと防災を位置づける。

【主な取り組み方向】

高齢者と若者の交流イベント（SNSの活用・WEBの活用を通じての地域コミュニティの活性化）→防災にも紐づける

活 動 内 容

令和2年度

1 まちむすびグループ勉強会

「みんなで楽しいまちづくり」

講師：久 隆浩 先生

日 時：令和3年3月27日（土）

13：00～15：30

場 所：西宮市大学交流センター

参加者：11人 ※久先生を除く

前田・植村・梅本・石田・佐久間
（ゆとろぎグループ）

植草・大西・岡田・佐藤・中田・
木村 ※ 順不同 敬称略

内 容：

「みんなで楽しいまちづくり」のレジメに添った講義のあと、事前にグループ内でまとめた質問とグループの運営の中で抱える問題について具体的なアドバイスをもらった。

成 果 & 課 題：

① 自治会を活性化するには？

■自治会の抱える問題

・意見がまとまらない

役員の中でも方向性が見えていない状況

すなわち少人数でもまとまらないのに、広く意見を聞くと更に混乱する。

⇒大勢の人から意見を聞く機会を持たない。義務感でやっている人を排除して、やりたい人で動かす。

コミュニティオブプラクティス

=実践共同体

・コア+アクティブ（30%）、残りは周辺（70%）

・企画運営（8/50） 名前だけ（10/50）
其々のメンバーは必ずしも固定化しているわけではなく流動的。

楽しい、やりがい⇒長続きする

■まちづくり協議会ガイドライン

・好きなことだけしかしない！と悪口をたたかれる⇒これからは、OK。

やりたい人が好きなことだけする。

・意見の違う人を否定する⇒認め合いながらゆるくつながる。

■里カフェ部会（例）

・やりたい人がその都度部会を立ち上げる⇒特定の部会に限定しない。

しんどい部分を中止、廃止の決断が出来るか？

■高齢者はネットワークがうまくないので、どうすればよいか？

・意見交換会からスタートする。

・集まる目的ではなく、集まる顔ぶれにより成否が決まる。

・ファシリテーターが回すのではなく、自分たちで回せる主体性のある人たちを集める。

・いろいろなことを話してくれるメンバーを厳選する。

・面白い人を見つける。

■まちづくり協議会をつくる経緯

・地域の組織の再編

- ・他の地域で立ち上がったから我が街でも立ち上げなければならない。⇒×
- ・別々の組織がそれぞれ個々に活動するより協力、連携を計れるようなネットワークづくり。
- ・最初に組織の会長が集まってスタートすると組織の解体がしにくい。
- ・組織を解体して「まちづくり協議会」の例えば福祉部門へ再編する。
- ・最初は其々の役員が充て職につく。
- ・役員選考の方法は手を挙げる。
- ・住民がまちづくり協議会の会員である。
- ・自治会はまちづくり協議会の核となる組織ではあるが、自治会連合会はまちづくり協議会へ変わっていく。
- ・地域の文化を反映しながら協議会へ1本化できるように導く。

■回覧板と掲示板的の違い

回覧板⇒届けてくれる＝受け身

掲示板的⇒見に行く＝自らアクションを起こす。

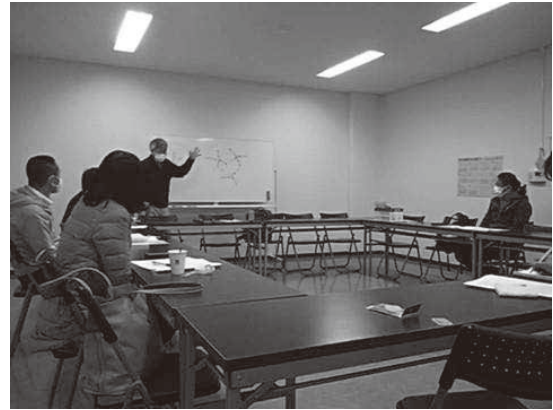
こんなことをやりたいので助けてくれる人いませんか？（SNSで発信する）積極的に情報を取りに来る人からつなげていく。

② まちむすびグループの今後の取組

- ・ラインのやり方を再考。
投稿に対してアクションを起こす。
たわいのない会話をはさむ。
井戸端会議的な内容を含めて投稿。
- ・リモートでグループ会議をする時はブレイクアウトルームを作って少人数（4、5人）で話す。
- ・遠慮する関係の場合リモートで活発な意見交換ができないので、リアルでの会議も必要。

まとめ：

今後は階層組織型ではなく、ネットワーク型で共感で繋がりながら活動をしていく。



<久先生からの提供資料>

みんなで楽しくまちづくり

近畿大学総合社会学部教授 久 隆浩

1 地域活動の見直し
活動は増えてくるが、担い手は増えない
地域活動について、発想ややり方の転換が必要

活動： 行事遂行型→課題解決型
運営： 階層組織型→ネットワーク型

従来： 決まった活動をどのように行うか + 新たな活動 → たいへん

活動の種別し+体力の見極め → 真に必要な活動が見えてくる、どれくらいの規模が可能か

八尾市・山本小学校区まちづくり協議会『わがまち推進計画』

- 1) 地域の特徴・課題を出し合い共有する
- 2) 課題解決のための方策を考える
- 3) 既往の活動を当てはめる
- 4) 足りない部分を補強し、重複する部分を整理する

課題を出し合い共有する → 課題解決型の活動
活動の体系化が図れる → 活動どうしの関係が見える

さまざまな年代・立場の人の声が反映できているか
ワークショップ等で話し合う機会づくりを

何が必要か → 誰が担うか・資金をどうするか
組織・資金・規模から活動を考えない

2 階層組織とネットワーク
(地域活動への)若い人の参加が少ない ← 活動の仕方が違う
一方で、若い人びとの社会活動が活発化
組織離れ ≠ 活動離れ

いこまマルシェ、こま市、good neighbors
マミークリスタル
ホンノワまちライブラリー、公園にいこえん

令和3年度

	階層組織型	ネットワーク型
構成員の関係性	上下関係	水平関係
意思決定	上層部で決定	みんなで考える(意思決定がないときも)
活動形態	指示・命令で一気に動いて動く	自発的に、できること/やりたいことを行う
	やらねばならないことを使命感で	やりたいことを楽しく
秩序形成	管理	自律
核となる人	リーダー	ファシリテーター
即効性・持続性	即効性:高 持続性:低	即効性:低 持続性:高

ネットワーク：責任の所在が曖昧に、管理が苦手 → 自律

ファシリテーター = みんなをその気にさせる人

リーダー：引っ張っていく、仕切る、指示する
 ファシリテーター：気づきを促す、みんなが動ける環境やきっかけをつくる

すぐに動かないといけない活動、多くの人でしっかりと担わなければならない活動：階層組織型
 長続きさせたい活動、とりあえずやってみる活動：ネットワーク型

1 ネットワーク型の活動展開
 やりたい人にやりたいことを任せる ← みんなが同じことをやる
 世話役は舞台や機会づくりを → みんなが活動を担う

八尾・山本小学校区まちづくり協議会 太陽の広場ふれあいまつり
 堺市南区・新樟屋台連合自治会の活動展開 / 実行委員会方式
 三田市・ゆりのき台地域活動協議会 / 事業提案の募集

まずは公募してみる → 手が上がらない部分を役員が担う
 呼びかける「場」の設置：この指し入れ方式 ← 組織員方式
 まちづくり井戸端会議

会議の方法を、ホワイトボードミーティングやワークショップにしてみる → ネットワーク型・参加型に

『町内会は義務ですか？』
 『PTA、やらなきゃダメですか？』

働きアリの法則
 よく働くアリ：ふつうに働くアリ：あまり働かないアリ = 2:6:2

P. 2

集団1/5の法則

- 1) 自発的に動く
- 2) 動いている人に触発されて動く
- 3) 命令されて動く
- 4) 命令されても動かない
- 5) やる気のある人の足を引っ張る

Ethne Wenger他『コミュニティ・オブ・プラクティス —ナレッジ社会の新たな知識形態の実践』
 コアグループ 10~15%
 アクティブグループ 15~20%
 周辺グループ

楽しい・やりがい → 長続き
 共感 ← アメ・ムネ

社会の動かし方が変わる：SNS、ボランティア活動、リノベーションまちづくり、社会起業家…
 権力・カネ・組織で社会を動かす → 共感・ネットワークで社会を動かす

太田編『「ネコ」型人間の時代 直感こそAIに勝る』
 私たちの社会では、管理する側に都合のよい「イヌ型」人間を育ててきた。その結果、消極的で、上の指示を待つ人間ばかりになってしまった。だが「ネコ型」、つまり自らが自由に自発的に行動できるようにしたところ、別人のようにやる気を出し、倒産寸前の会社がV字回復したり、弱小少年野球チームが常勝軍団に、さらに中学校で不登校が激減したという。

できるときに、できる人が、できることを / 無理なく、楽しく

宝塚市「まちづくり協議会ガイドライン」 <https://takarazuka-community.jp/about/>
 ①参加したいと思った時、参加の意思表示ができる方法はありますか？
 ②会議の場づくりを心がけ、それぞれの立場や違いを認め、誰もが活発に発言できる気持ちの良い話し合いができていますか？

三田市・高平郷づくり協議会 里カフェ部会

自治会費を納めて、義務で活動する人 / やりたいことを自発的にやってくれる人
 しんどい行事を休止・縮小する勇気

P. 3

2 「SDGsを体感しよう」

「SDGs de地方創生」カードゲーム 事前体験会

日時：令和4年2月5日（土）

10:00~11:30 グループ会議

13:30~16:30 カードゲーム

体験会

場所：リード芦屋・芦屋市民会館

参加者：8人（ビジョン委員）

講師 中嶋 雅美さん

内容：

3月5日に「SDGsを体感しよう」カードゲームイベントを開催予定であり、開催前にグループメンバーで一度、事前体験することで、進行方法、準備物、課題などを検討し本番のイベント運営がスムーズに行えるようにする。

成果：

カードゲーム体験会に参加したビジョン委員は、カードゲームについての一連の流れを確認することができた。またカードゲーム終了後に講師中嶋先生ともに本番当日に向けた課題を話し合い、今後本番当日に向けて修正を行っていくこととなった。

課題：

(集客面)

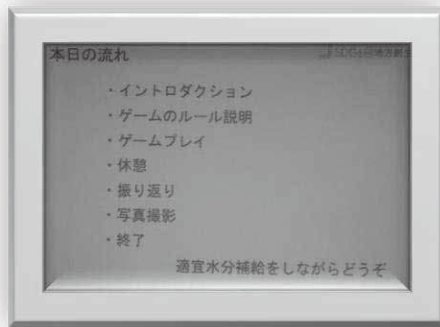
- ・最小開催人数（6名）は超えているものの、できれば15名程度参加者を集めたい。
- ・特に大学生の参加者が少ないため、アプローチが必要である。→大学生である副代表が、SNS等で声をかける。
- ・阪神南ビジョン委員会の活動なので、尼崎・西宮の高校からも参加者を募りたい。→大学生の参加状況を踏まえながら、追加で高校へのアプローチを検討する。

(内容面)

- ・参加者同士の協力がゲームの要素として不可欠であるが、どのように対話を促していくか。→自己紹介を行い。お互いの親睦を深める。ビジョン委員が

エンジン役となることで、参加者同士の対話をある程度まで盛り上げる。

- ・ルールがやや分かりにくいいため、参加者によってはゲームの理解に時間がかかる可能性がある。→体験会に参加したビジョン委員や中嶋さんに巡回していただき、適宜必要なサポートを行う。



3 「SDGsを体感しよう」 「SDGs de地方創生」カードゲーム 体験会（本番）

日時：令和4年3月5日（土）
13：30～16：30

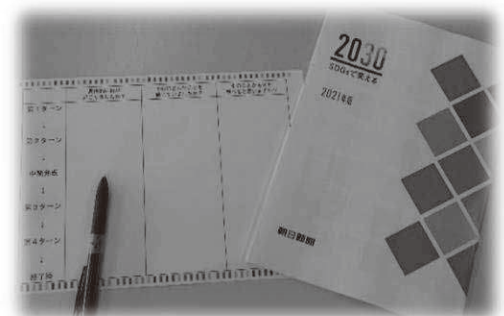
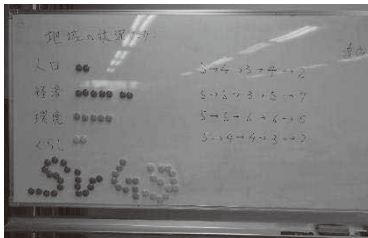
場所：リード芦屋
芦屋市公光町5-8

参加者：12人予定
高校生6人、一般6人
講師：中嶋 雅美さん（SDGs公式
ファシリテーター）

内容：

「SDGs de地方創生」カードゲームとはSDGsの考え方を地域の活性化に活かし、地域創成を実現する方法について参加者全員で対話し考えるためのゲームである。ゲームをすることで楽しみながら「自分たちの未来」を考えるきっかけにしたい。

今回は半数を芦屋の高校生に参加してもらう事により、一般の参加者（高齢者含む）とカードゲームを通じ多世代交流も同時に図りたい。



活動の評価・総括

自分たちの未来を考えてみよう
「SDGsを体感しよう」
 「SDGs de地方創生」カードゲーム* 体験会



開催日：2022年3月5日(土)
 時間：13:30～16:30 (13:00開場)
 会場：兵庫市立あしや市民活動センター サードあしや
 〒650-0001 兵庫市立あしや市民活動センター サードあしや (電話) 0797-26-4452
 取寄費無料から送料別、決済手数料から送料別約15分
 取寄費別約15分 (送料別約15分) (送料別約15分)
 対象：SDGsに関心のある方などなたでも (ただし、高校生以上)
 定員：13名 (原則先着順ですが、確保人員を越えた場合、抽選させていただきます。)
 講師：中嶋雅美さん (SDGsがアドバイザー)
 参加費：無料
 持ち物：マスク、筆記用具
 申込み：①右のQRコード (Googleフォーム) から
 ②メールまたはFAX
 ③電話にてお申し込み下さい。
 *申込み結果は、メールにて、ご連絡させていただきます。申し込み確定・受領郵着の確定
 を受けている方は (gmail.com) のアドレス宛に報告しておいてください。
 *いただいた個人情報、第三者に提供したり目的外使用はいたしません。
 ※お問い合わせ 新型コロナウイルス対策として、マスク、手袋 (1日限り) の着用をお願いします。会場などの体温
 測定には参加をお願いします。また、会場での感染、ご自身の体調不良の発生はご報告ください。
 なお、今後の感染状況によっては中止となる場合があります。ご了承ください。
 主催：第10期阪神南地域ビジョン委員会 まちむすびグループ
 後援：兵庫県阪神南市民センター

今期のビジョン委員の中で最大数17名のまちむすびグループ。
 ワンチームとしてのまとまりを構築する前に立ちふさがったのは新型コロナウイルスでした。

世代間交流と防災がテーマの我々のグループですが、その活動は「対面」を主とした活動だけに行動制限を伴う緊急事態宣言や蔓延防止法等に良くいえば安全を最優先にした、悪く言えば動きを止められたことを良しとしてしまいました。

他のグループの皆様が創意工夫されて活動されていることや、なかなか全員で集まらないなどで一時期焦りも生じましたが 久先生にご指導いただいた「この指とまれ」方式を用い、令和3年度も駆け込みで活動 (イベント) にこぎつけました。

仕事とは違い、どこまでボランティア活動に熱意を注ぎ込めるか、ほとんどの方は初めてのなかりモートでの展開など、新しい時代に向けた方策を最後に気付きました。

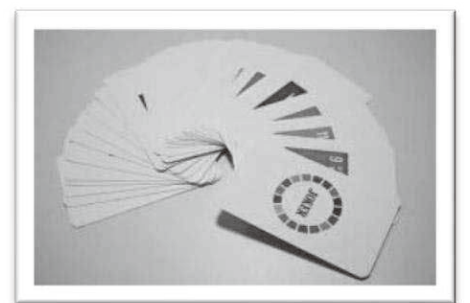
「SDGs de地方創生」カードゲーム体験会
 申込用紙

下記の事項をご記入の上、メールまたはFAXでお申込みください。
 メール：matsumebi@vision22@gmail.com (まちむすびグループ)
 FAX：06-6482-0579 (兵庫県阪神南市民センター-阪神南地域ビジョン委員会事務局)
 FAX送付後は、必ず電話(06-6481-4542)にてFAX到着確認をさせていただきます。

氏名	
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 答えたくない
年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上 <input type="checkbox"/> 答えたくない
職業	<input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生・院生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> パート <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 答えたくない
住所 (番地まで)	
電話番号	
メールアドレス	◎
このイベントのことをどのようにして お知りになりましたか? (複数回答可)	<input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 友人 <input type="checkbox"/> 広報紙 <input type="checkbox"/> その他
活動の広報として、兵庫県のホームページをはじめとして、 広報用紙子やインターネット媒体 (facebook, instagram等 各種SNS) に今回のイベントに関する写真を掲載させていた だく場合がございますが、よろしいでしょうか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
コメントまたは ご質問 (任意)	

運営体制

- 代表：植草結樹
 副代表：大西耕平
 委員：内田 敬、大島 勲
 岡田雅行、木村由香里
 佐藤輝美、持家照子
 杉田伴代、高木幸太郎
 寺坂美一、中田一郎
 前田裕保、松本和久
 松本美江子、矢倉久仁香
 横井浩次郎、横井優子



緑豊かな安全なまちづくりグループ

行動目標と主な取り組み方

【行動目標】

自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する

阪神ベイエリアの海浜、武庫川、猪名川等の自然景観や環境の再生に努める。また、市民と共に多発する自然災害から命と暮らしを守る安全な街づくりを目指します。

【主な取り組み方向】

- ・ 阪神ベイエリアの自然環境を守る
- ・ 武庫川や猪名川等の水辺を再生し、潤いある自然豊かな街づくりをめざす
- ・ 地域防災力の向上として、専門家を迎えて防災講座を開催する
- ・ 防災施設や景観の現地見学会を開催する

活 動 内 容

令和2年度

- 1 「ひがた」ってどんなところ？
～甲子園浜に広がる生きものたちの世界～

日 時：令和3年3月17日（水）
14：00～16：00

場 所：西宮市立甲子園浜自然環境センター1F会議室
西宮市枝川町19-10浜甲子園運動公園内

参加者：17人（内、ビジョン委員 木村 赤沼、和田、竹嶋、深田、村田 計6名）
※順不同 敬称略

内 容：

貴重な「ひがた」の自然を知り、体験していただくことで、急激に変化する現在、私たちが次の世代に残さなければならないことは何かを学ぶことをその目的とします。

講演は山西良平氏（西宮市立貝類館顧問、大阪市立自然史博物館元館長、理学博士）甲子園浜に出て生きものたちを観察、3階に移動し野鳥観察、NPO法人「子どもの環境活動支援協会」の担当者から甲子園浜に來ている野鳥の説明を受けます。

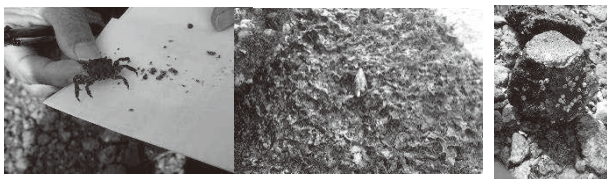
成 果：

参加者数17人 会場定員（コロナ対策後の定員24人）
近隣の市民活動団体にも声をかけ、周辺で活動しているグループ等からの参加を得た。
参加の皆さんには底生動物一つ以上の正確な名前を憶えていただいた。

課 題：

一般募集をビジョン委員中心に案内しましたが、参加者はありませんでした。委員へはLINE WORKS等、既存の連絡網に載せましたが効果は乏しくビジョン委員へのLINE WORKSによる広報は期待できない。
ビジョン関係者への広報は今後の課題だと考えます。
今後は、地域で活動をするNPO法人や活動グループとの連携を進めることが大切と考えます。





令和3年度

2 西宮神社の黒松周囲剪定

日時：令和3年5月14日（土）

10：00～11：50

場所：西宮神社

参加者：4人

内容：

1) 綱島居前集合

小西さんが吉井禰宜と事前に献木の
日当たり改善のために、周囲の樹木の
枝を剪定する許可を得ていた。

2) 剪定作業

- ・根本周囲の地面をほぐし、根の張り具合や周囲の樹木の根の侵入範囲などを確認した。
- ・樹木医藤原氏の指示の基に長さ4mの剪定用のこぎりで、日陰に影響している直径10cm前後長さ3m以上の枝を6本程度剪定した。切口は竹炭液で消毒と雑菌侵入防護した。
- ・除去した枝は1m以下に枝・葉を処理し、落ちた葉なども掃除。
- ・大きめのリヤカーいっぱいをゴミ処分場まで運搬処分。
- ・東門の黒松と共に水遣りにて作業完了。
- ・竹割り工法で少し深い根の周囲へ酸素供給ルートを確保するフォローは、松の成長サイクルから冬場にするのが良いとの樹木医からの意見で、2周年に行うものと暫定した。

- ・コロナの影響で参加者を絞って屋外であるが全員マスク姿で作業。高所の枝切のために落下する枝で怪我をしないように、予めロープをかけて横引きを別の人がした。


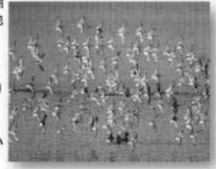

成果：

- ・樹木医の専門的な指導により、効果的な対策が的確に行えた。また、植栽活動の現役により資材の提供を受け、スムーズに作業の手順を学ぶことが出来た。


「ひがた」ってどんなところ？

～甲子園浜に広がる生きものたちの世界～

川が運んできた砂や泥が河口や海岸にたまり、潮が引いている間だけ顔を出すような平坦な土地を「ひがた」と呼びます。
川は砂や泥と共に、生き物の栄養や餌になる様々な物質も併せて運んでくるので、「ひがた」にはいろいろな生きものが集まり、互いに関わりあいながらそれぞれの生活を営んでいます。
「ひがた」の生きものたちの世界を観るなかで私たちは次の世代へ何を伝えなければいけないか今一度考えてみたいと思います。

日 時	令和3年3月17日（水） 午後2時から午後4時
場 所	西宮市立甲子園浜自然環境センター（西宮市枝川町19-10 浜甲子園運動公園内）
講 演	大阪湾「ひがた」の生きものたち 山西良平氏（貝類館顧問、元大阪市立自然史博物館館長、理学博士 近年「大阪湾潮感帯生物相の変遷」をテーマに研究 参加料 無料、定員10名 定員達し次第終了 （定員超えの場合のみ連絡します）
申込	阪神南地区センター（連絡先）
連絡先	阪神南地区センター fax 06-6482-0579 ※会場定員はコロナ対策で24人
主 催	阪神南地区ビジョン委員会（連絡先 090-1674-8456） 緑豊かな安全なまちづくりグループ（担当 木村）
協 力	西宮市立甲子園浜自然環境センター NPO法人子ども環境活動支援協会
写真提供	高橋 正晴氏（第9期ビジョン委員）



このQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、イベントの詳細がご覧いただけます。

コロナ対策として、飛沫防止マスクの着用・換気・手指消毒・連絡先名簿作成に協力をお願いします。
当日の体調の管理（発熱、喉等）の上、出席をお願いします。

イベントチラシ



剪定作業中



網鳥居側 黒松今回作業



吉井禰宜と
小西専門員

3 アルカイク避難訓練コンサート 2021

日 時：令和3年9月18日（土）

14：00～16：00

場 所：あましんアルカイクホール

参加者：5名

（赤沼有季、大島勲、竹嶋政宏
村田実、和田寿子 敬称略）

内 容：

コンサートで演奏中に、緊急地震速報、シェイクアウトの姿勢から会場誘導員の誘導にて速やかに避難行動をする。身をもって体験することの重要性を知る。



4 武庫川の自然と防災 講座

講師 兵庫県県土整備局
武庫川総合治水室長 樋口俊光氏

日 時：令和3年12月15日（水）

14：00～16：00

場 所：尼崎市防災センター多目的ホール

参加者：43名

（樋口室長、小西専門委員含む）

内 容：

兵庫県県土整備局武庫川総合治水室長樋口俊光氏を講師として武庫川の自然と災害の歴史及び河川整備計画を通じて武庫川の将来を「武庫川の自然と防災」として開催。

1. 村田氏）開会挨拶
2. 大島氏）武庫川にワクワク⇒武庫川の特殊性と生瀬～道場間の峡谷にある武庫川廃線敷の歴史と魅力を説明
3. 樋口氏）武庫川河川整備計画⇒三田盆地や阪神間が都市化された、武庫川の総合治水としての整備計画と河口付近における整備進捗状況の説明
4. 質疑応答（3名から質問、樋口・大島が応答）（司会：大島）
5. 村田氏）閉会挨拶

成 果：

武庫川渓谷の中流に沿う廃線敷の魅力を伝えるとともに、開発や災害の歴史を学び、河川改修や今後の武庫川の姿を知ることが出来た。

改善点：

整備計画は、内容が行政の専門的な話が多く、質疑応答についても、そちらに偏って一般参加者には少し難しかった。

課 題：

阪神間の魅力をもっとアピールしていくのに、武庫川という共通するキーワードを使ったが、まだまだ知られていないことが多い。生活に密着して事柄や防災安全に関する事例を知ってもらうチャンスが少ない。

参加者の声：

質疑応答も含めて、できるだけ一般参加者にもわかりやすいように平易な言葉で話したが、それでも難しすぎるとの声が多数後で聞かれた。



5 西宮神社の黒松お手入れ会

日 時：令和4年2月13日（日）

8：50～10：50

場 所：西宮神社 綱鳥居前

参加者：8人（小西専門委員含む）

内 容：

- ・西宮神社に献木したクロマツのお手入れ会として開催。東門側に比べて綱鳥居側の生育が遅れている。日陰や地盤硬度の面で問題があるとして、藤原樹木医の指導の元に地盤改良を行った。
- ・地盤改良はアースオーガーで直径15cm 深さ100cmの穴を6本掘り、鹿沼土・日向土・軽石・炭粉を全部で50リットル程度ブレンドして、割竹を中心に詰めした後、周りに残りを埋め戻した。
- ・穴を掘って地盤の硬度を柔らかくすると共に、空気や水の浸透により、植えた幼木の根が張りやすくする効果を期待している。周りからの樹木の根や大きい石が埋まっており、取り除く事ができるものは積極的に除去した。

成 果：

- ・早くから作業を開始したので、雨降りの前に作業を完了できた。
- ・参加者が増えて、実質作業の手が分散出来た。



活動の評価・総括

10期のビジョン活動を振り返ると、一昨年10月にやっと、新メンバーの顔合わせをすることが出来ました。

2年間で活動できる期間が少なく、対面によるイベント講演は下記の通り2回のみでした。皆さんで行動目標に沿ったイベントへの参加や、防災関連の情報をグループLINE上にアップして、ハザードマップ等の資料を集め、比較検討。また、毎月の会議もほとんどオンラインで行いました。

イベントとしては、R3年3月甲子園浜にて、大阪湾「ひがた」の生きものたちと題して専門家による講座と、実際に干潟に出て野外勉強をしました。

R3年12月には、尼崎消防局防災センター会場をお借りして、最大限のコロナ感染対策の上に“武庫川の自然と防災”をテーマによる講演を開催しました。

「武庫川の自然と文化を災害の歴史」から専門家の方々に語って頂きました。

先期より続けています西宮神社内のクロマツの生育状況の紹介と手入れを続けています。今後も引き続き成長を見守り続けたいと考えています。

平素から非日常に備え、多発する自然災害から命と暮らしを守る安全なまちづくりを目指します。

運 営 体 制

代 表：村田実

副 代 表：大島勲、赤沼有季
和田壽子委 員：木村俊二郎、黒田和伸
高田誠一郎、竹嶋政宏
深田春二、藤村明沙佳

三市物語グループ

行動目標と主な取り組み方

【行動目標】

豊かさとにぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する

芦屋・西宮・尼崎の三市はそれぞれの地域特性を生かした魅力を発展させてきました。そこでそれぞれの魅力をつなげることで新たな魅力を創出し、豊かさを感じ、にぎわいある阪神間となり、経済の発展に寄与していく。

【主な取り組み方向】

私たちは、三市（芦屋、西宮、尼崎）の魅力を伝える物語を作って発信し、それらを活用してにぎわいを創出し、経済の活性化につなげる活動をします。

活 動 内 容

令和2年度

- 1 三市物語 #01 ヨドコウ迎賓館のおひなさま（SNS公開用映像用取材）

日 時：令和3年3月2日（火）
9：00～10：00

場 所：ヨドコウ迎賓館（旧山邑家住宅）
芦屋市山手町3-10

参加者：3人（岡本・川西・濱田）
※ 順不同 敬称略

内 容：

三市（芦屋・西宮・尼崎）の魅力を伝える活動の一環として、阪神間モダニズムを代表するヨドコウ迎賓館にて、期間限定のひな人形の展示を含めて取材を行い、その様子を動画にまとめてSNS発信する。

慣れない動画編集に取り組む良いきっかけとなりました。

成 果：

取材をもとにフェイスブック、インスタグラムに、その様子の掲載を行った

<facebook>

<https://www.facebook.com/groups/sanshimonogatari>

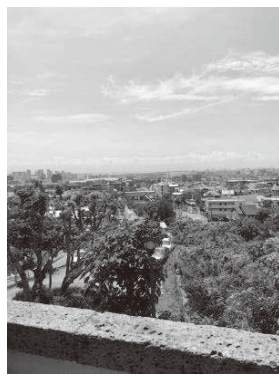
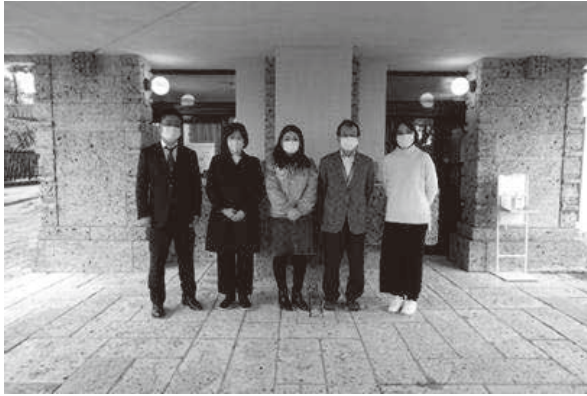
<Instagram>

<https://www.instagram.com/p/CMvt-t3hHaF/?igshid=gwm842rfeio2>

課 題：

シリーズとして、作成し、閲覧回数を増やし、多くの方に魅力を伝える取り組みを行っていく





2 国際交流 X 遊び international sports festival

日 時：令和3年3月21日（木）
14：00～16：00

場 所：アルキメデス大庄(大庄げんき村)
参加者：12名（うち、スタッフ2名）

内 容：

異文化理解、コロナ禍の運動不足解消
（学生のボランティアスタッフとの共同イベント）

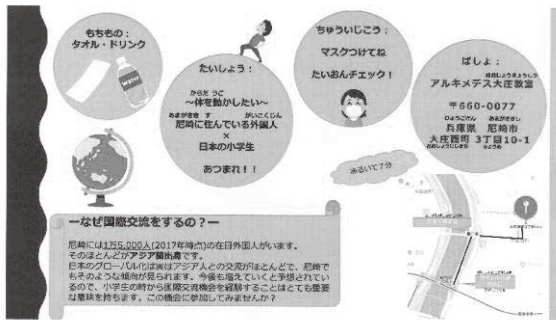
- 開会式 約10分
- アイスブレイク30分
 - バースデイライン
 - しりとり自己紹介
 - 目的ルール説明
- 遊び内容
 - UNO
 - ジェンガ
 - トランプ
 - 気配切り
 - 卓球
- 表彰式 約10分

成 果：

大雨の中、近隣の方がきてくれた。程よい人数になり管理しやすく、じっくりと活動に取り組めた。学生や子供たちも楽しく交流でき、予定時間をすぎても帰りたくないようだった。学生達の初めての取り組みで、地域の方が楽しめる交流の場を作れた達成感を得られ、学校では体験できない貴重な経験となった。神経衰弱、ジェンガ、UNO、卓球、スポンジの剣で目隠しをして相手の気配を感じて叩くという遊びなど、学生たちの趣向を凝らした遊びを教えてもらいながら楽しく遊んでいた。

課 題：

場所の告知がうまく伝わらず中に入りづらい感じで、入り口に入りやすい告知掲示が必要だった。学生達も初めての活動ということで連絡がうまくいかず、コロナ禍ということで計画の変更があり、中々進まず時間がかかってしまった。今後は前倒しで余裕のある計画が必要。



令和3年度

3 「SNSを使った飲食店の発信」
(コロナ禍の為中止)

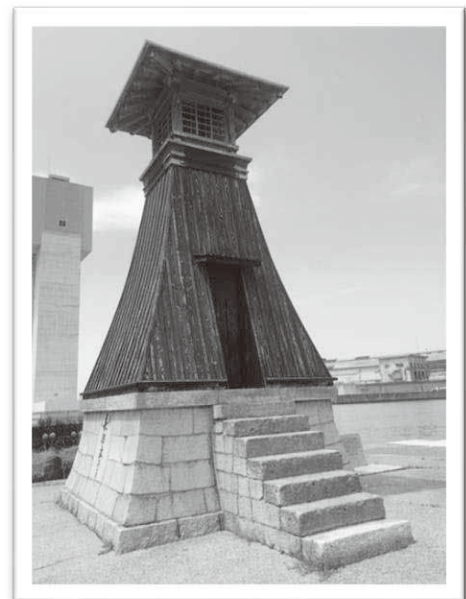
日時: 令和3年4月~
場所(行先): 尼崎市、西宮市界限
内容:

学生メンバーが企画
尼崎市の虹色のチーズケーキ、西宮市がコーヒーの街として、学生目線でSNS発信する予定でしたが、飲食の食べ歩きなのでコロナの為中止としました。

4 今津木造灯台紹介動画取材

日時: 令和3年4月30日(土)
場所(行先): 西宮市今津
内容:

西宮市今津にある、今津灯台を動画作成の為、取材撮影にいきました。現役の木造建築灯台として、西宮市の文化財指定を受けています。動画を作成し、Instagram、Facebookにアップしました。



5 西宮廃線跡紹介動画作成

日 時：令和3年5月撮影
 場 所（行先）：西宮市
 内 容：西宮市の「廃線式ウォーク」コースの紹介動画です。
 実は自然豊かな西宮市、様々な見所があり、ウォーキングコースが豊富にあります。歴史や名所を辿りながら歩けます。コロナ禍の運動不足解消に近場で楽しくウォーキングができます。



6 尼崎農業公園紹介動画作成

日 時：令和3年5月4日（土）
 場 所（行先）：尼崎農業公園
 撮影者：1名
 内 容：尼崎市田能にあります尼崎農業公園は、農地を利用した四季折々の花が楽しめ、バラ園や、菖蒲園、桜もあり、阪神南地域の憩いの場となっています。



7 杭瀬商店街オンライン会議

日 時：令和3年7月2日（金）
 令和3年8月6日（金）
 場 所（行先）：オンライン Zoom
 参加者：8～10名
 内 容：尼崎市の杭瀬商店街でイベント予定の為、オンライン会議へ参加しました。杭瀬商店街会議は定期的に月に1回あり、杭瀬商店街の活性化について話し合いました。誰でも参加可能です。何回か出席し、杭瀬界隈での、昭和レトロ写真ツアーなどを提案しました。



8 西宮神社紹介動画作成

日 時：令和3年7月、11月撮影
 場 所（行先）：西宮神社
 内 容：西宮神社で1年間にあった行事を3つ抜粋して、動画にしました。七夕、観月祭、十日えびすを紹介しています。西宮神社は行事が多く、駅から近く、親しみやすい神社となっています。気軽に立ち寄って欲しいと思い作成しました。



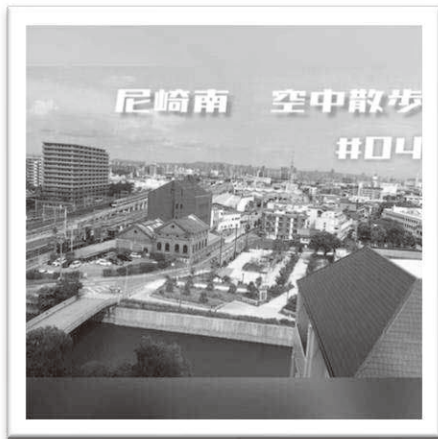
9 尼崎南空中散歩動画作成

日 時：令和3年11月撮影

場 所（行先）：阪神尼崎駅前ビル

内 容：

阪神尼崎駅前にあります、土井ビル（撤去予定の為、現在立ち入り禁止）の屋上から撮影をして、空中からの尼崎の動画を作成しました。いろんな形での地域の魅力を紹介する方法として、ビルの屋上からの撮影も視点が変わり、面白いものとなりました。



10 杭瀬レトロツアー

日 時：令和3年11月6日（土）
15：00～17：00

場 所：杭瀬駅周辺（杭瀬駅→五色横丁→杭瀬商店街）

参加者：12名（うち、スタッフ2名）

ガイド：成田 たけこ氏

内 容：

杭瀬駅より出発。奄美の人たちがたくさん出稼ぎに来てできた奄美の歴史が残る五色横丁や、縦横無尽に伸びる杭瀬商店街を、地元の人ガイドで写真撮影しました。

成 果：

杭瀬の歴史や、商店街を知る良い機会となりました。

課 題：

杭瀬の魅力をもっと多くの方に知って頂ければ、もっと人が集まると思います。そして、地域が活性化すれば、新たな魅力を創造が想像され杭瀬が発展していく事ができると感じました。まずは、魅力を発信し続ける事で知ってもらう事が必要と思います。



1.1 紹介動画アルバム作り

日 時：令和4年2月～

場 所（行先）：尼崎市、西宮市、芦屋市

内 容：

今まで撮った動画を、アルバムに編集して、ネット以外でも見られるようにしました。作ったアルバムは県民センターで自由に閲覧できるようにしたいと考えています。ネット上でも、リアルでも両方で活用できる形にしました。



活動の評価・総括

「豊かさにとぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する」というビジョンを目的に活動を行いましたが、コロナ禍の為、当初予定していた外でのイベントなどができず、急遽オンライン活動へ変更しました。

結果、コロナに2年間振り回されましたが、オンラインに切り替えていた為、個人単位で活動ができ、地域の魅力を発信することができました。

しかし動画の作成など、技術を要する活動となった為、なかなか全員での活動は難しいものとなりました。コロナ禍での厳しい環境で

悩みましたが、模索した結果、「新たな阪神経済を展開」する道を、SNSという形で開拓することができました。

課題としてはコロナという問題が発生した場合に、速やかに違う方向での活動に切り替える必要があると感じました。

戸惑っている間にどんどん時間は過ぎてしまうので、まずはできることからやってみて、小さな活動でも継続することが重要だと感じました。

今回、SNSの活用の重要性がわかり、地域の魅力を知ってもらう為の重要なツールであり、簡単かつスピーディーに発信できることがわかりました。

今後も新たな壁に挑戦しながら、いろんな方向から展開していきたいです。

運 営 体 制

代 表：岡本光永

副 代 表：濱田愛子

委 員：浅井小緒里、池田悦子
大西瑠佳、大原隼人
大野晃希、影山千津子
川西真由美、後藤康仁
殿村愛一郎、西牧力
前田俊彰